

# 第61期 定時株主総会

2024年 6月20日(木)

ウェーブロックホールディングス株式会社  
証券コード:7940  
(東証スタンダード)

# 議長就任宣言

# 開会宣言

# 出席株主・株数の報告

# 監査役の監査報告

# 報告事項

# 連結業績概要

# 2024年3月期 業績概要

(単位:百万円)

	2023年 3月期 (実績)	2024年 3月期 (実績)	増減率
売上高	22,584	23,559	+4.3%
マテリアル	18,069	17,739	△1.8%
アドバンスト	4,545	5,841	+28.5%
営業利益	346	387	+12.0%
マテリアル	618	1,018	+64.6%
アドバンスト	363	41	△88.5%
その他	△635	△672	-
経常利益	718	676	△5.9%
当期純利益	2,321	456	△80.3%

■ 売上高 23,559百万円  
(前年同期比+4.3%)

- 食品用包材、北米自動車メーカー向けパーツ成形販売、テレビモニター向け導光板の仕入販売が増収に寄与
- 原材料価格上昇分の売価転嫁

■ 営業利益 387百万円  
(前年同期比+12.0%)

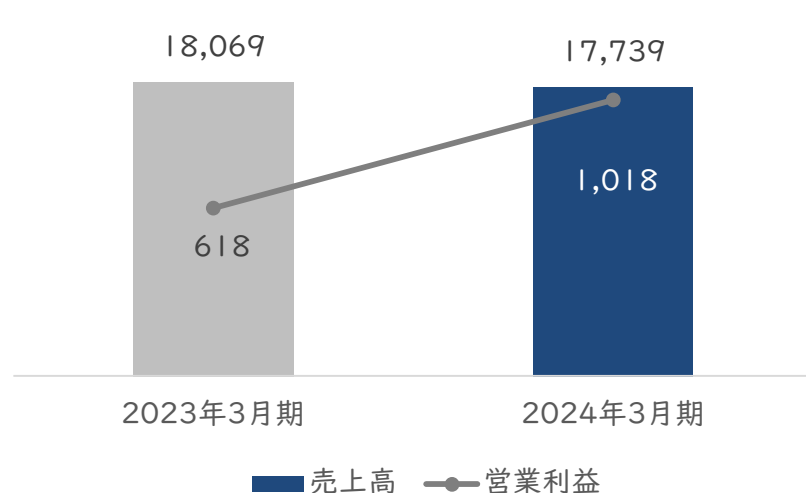
- 原材料価格上昇分の売価転嫁、一部製品の採算見直し
- 食品用包材の生産体制強化による生産効率向上

■ 当期純利益 456百万円  
(前年同期比△80.3%)

- クリアネイト(株)(旧(株)ウェーブロックインテリア)株式売却益などの計上分、前期比減少
- RP東プラ(株)による持分法利益を計上

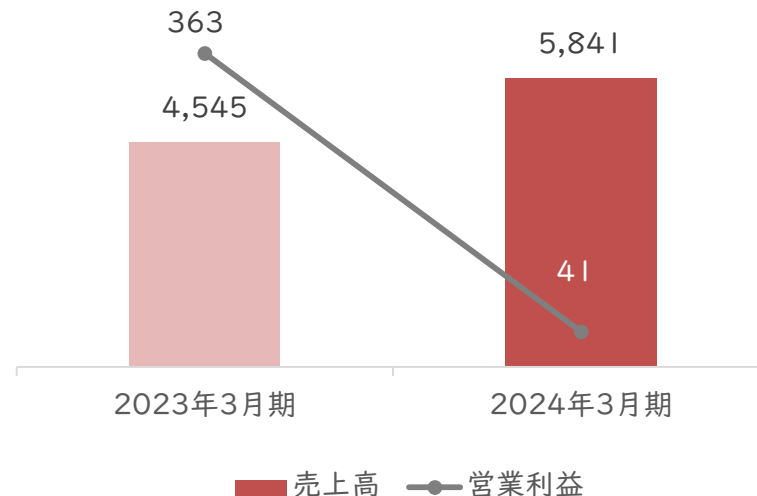


## マテリアルソリューション事業



- 買い控えなどにより販売数量減少も、原材料価格上昇分の売価転嫁や一部製品の採算見直しが奏功
- 生産性向上や製造原価抑制が利益に貢献
- 食品用包材を扱うパッケージングソリューションが好調
- 地中熱ビジネスは、顧客への提案活動に一定の成果も、体制強化は引き続き課題

## アドバンステクノロジー事業



- 北米向けパーツ成形販売を本格開始
- エンブレムなどの採用内定獲得
- フィルム販売は採用車種のモデルチェンジ前倒しなどにより減少
- 販売数量減少に伴う生産効率低下、拡販に向けた製造設備新設に伴う減価償却費の増加（前年同期比164百万円増）などにより減益
- テレビモニター向け導光板販売が増収に寄与

# 新中期経営計画2026 (2025年3月期～ 2027年3月期) 概要

安定的かつ継続的な成長を前提とした長期利益の獲得による  
従業員・株主への持続的な還元を実行する

事業  
基本戦略

成熟分野における  
稼ぐ力の  
再構築

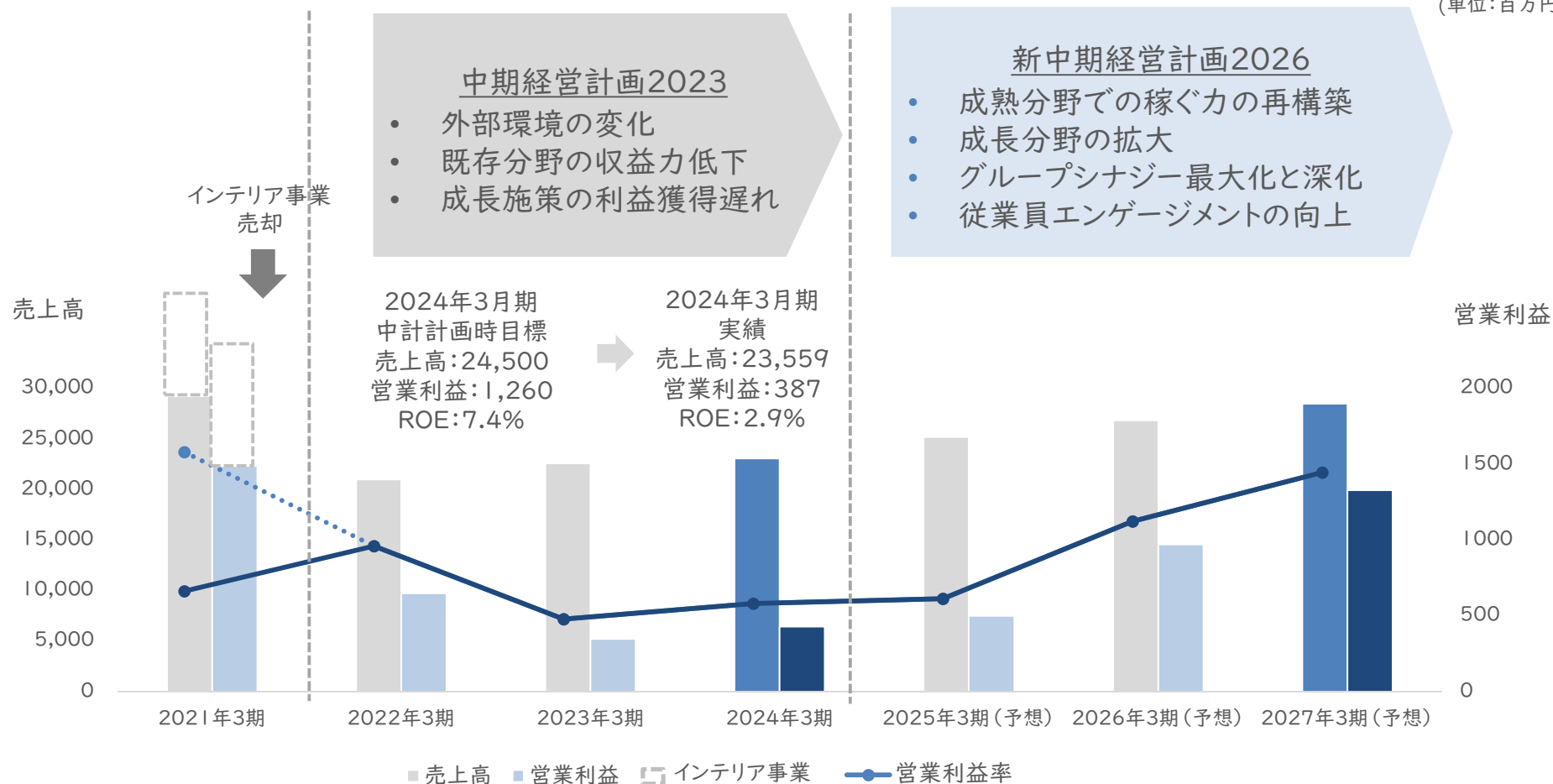
成長分野の  
拡大

グループシナジー最  
大化と  
更なる関係深化

グループ  
経営施策

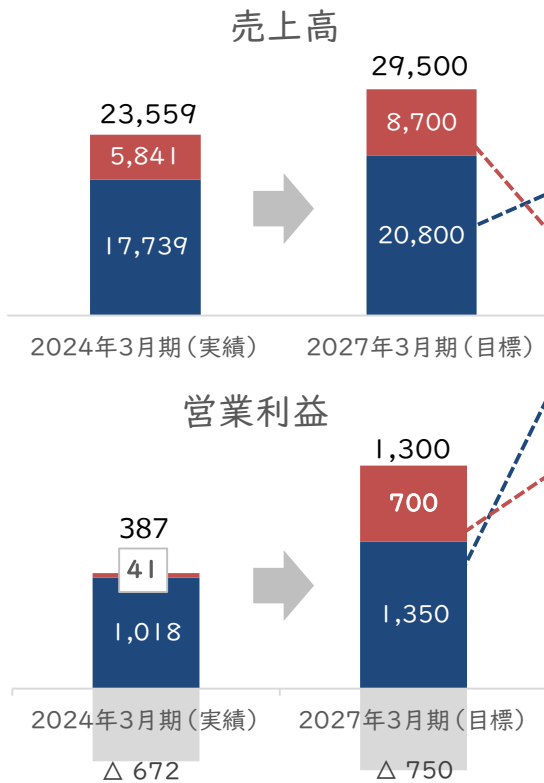
従業員エンゲージメントの向上

(単位:百万円)



2027年3月期 目標値	売上高 <b>29,500</b>	営業利益 <b>1,300</b>	営業利益率 <b>4.4%</b>	ROE <b>6.3%</b>
-----------------	----------------------	----------------------	----------------------	--------------------

- 最終年度目標は2024年3月期実績比で売上高+25%、営業利益+235%
- マテリアルソリューション事業は地中熱ビジネスの本格化と既存事業の選択と集中により、コロナ禍以前の利益水準まで戻す
- アドバンステクノロジー事業は自動車向け採用モデルの安定供給と新規獲得を狙う



- アドバンステクノロジー事業
- マテリアルソリューション事業

## 成熟分野における稼ぐ力の再構築

- 地中熱ビジネス本格化、既存分野との連携強化
- 低成長・低収益事業の整理統合、拡大が見込まれる分野への生産資源集中により、利益獲得能力を再構築

## 成長分野の拡大

- 金属調加飾フィルムの自動車向け採用は順調に拡大
- 採用車種の販売状況により売上高の変動懸念はあるものの、採用メーカーやモデルの拡大と確実な安定供給体制の構築により安定化を狙う

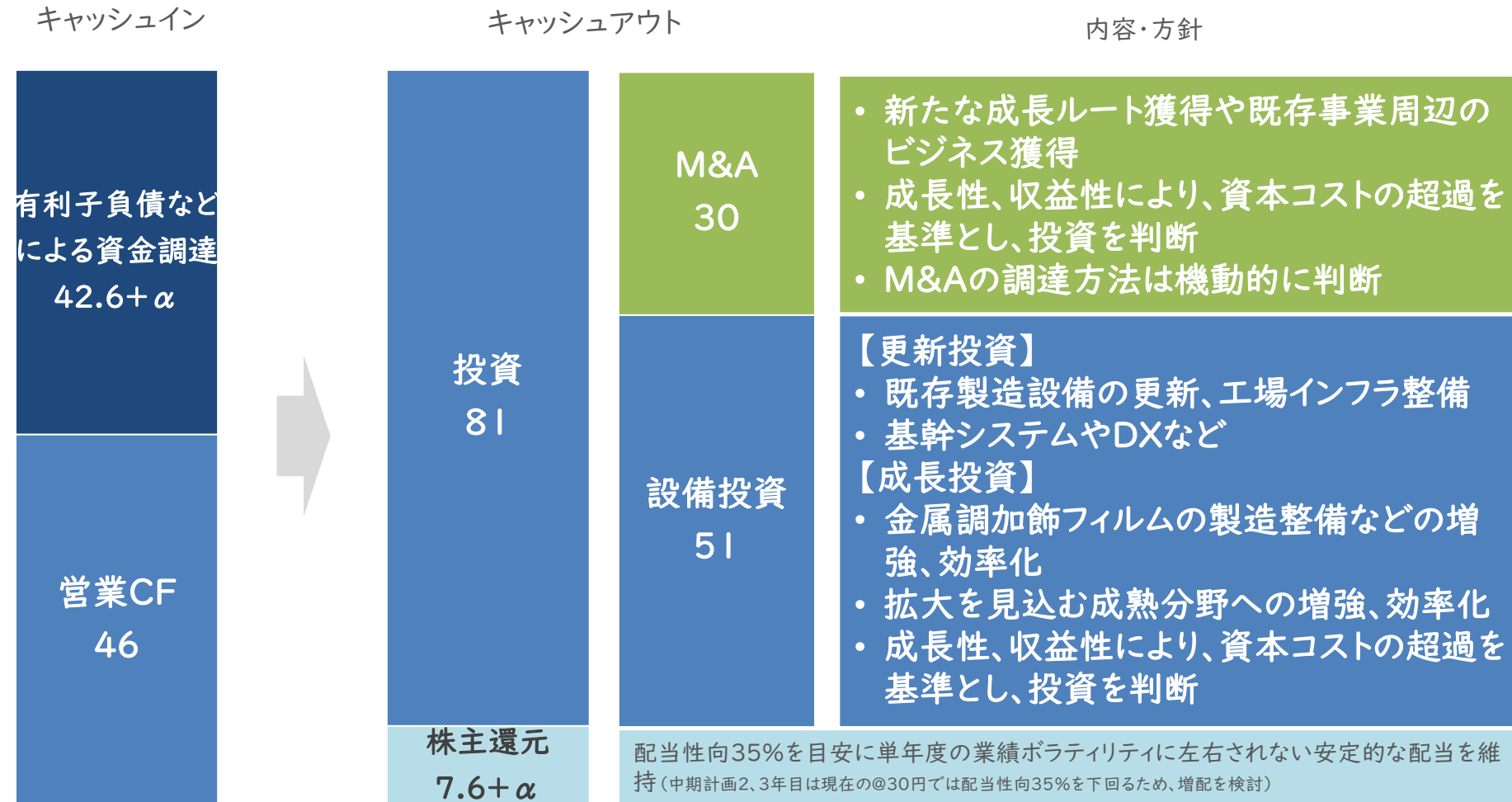
## グループシナジー最大化と更なる関係深化

- 既関連企業とのシナジー創出と関係深化
- 周辺領域のM&Aと新規事業模索

## 従業員エンゲージメントの向上

- エンゲージメントスコア目標Aランク (リンクアンドモチベーションのスコアによる)
- 人財育成教育の強化・推進
- 業績に応じた報酬還元により、約3~5%の賃上げを計画

- 営業CFおよび資金調達を原資とし、投資や株主還元に分
- 成長のための積極的な設備投資、事業拡大のためのM&A、安定的な株主還元を進める



# 2025年3月期 業績見通し

# 2025年3月期 連結通期業績予想

(単位:百万円)

	2024年 3月期 (実績)	2025年 3月期 (予想)	増減率
売上高	23,559	25,500	+8.2%
マテリアル	17,739	19,000	+7.1%
アドバンスト	5,841	6,500	+11.3%
<b>営業利益</b>	<b>387</b>	<b>420</b>	<b>+8.4%</b>
マテリアル	1,018	950	△6.7%
アドバンスト	41	150	+258.9%
その他	△672	△680	-
<b>経常利益</b>	<b>676</b>	<b>660</b>	<b>△2.4%</b>
<b>当期純利益</b>	<b>456</b>	<b>440</b>	<b>△3.6%</b>

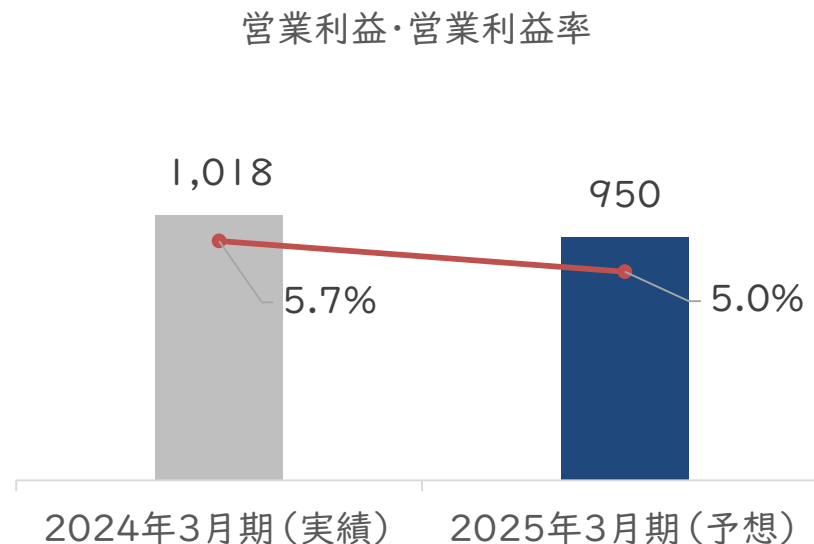
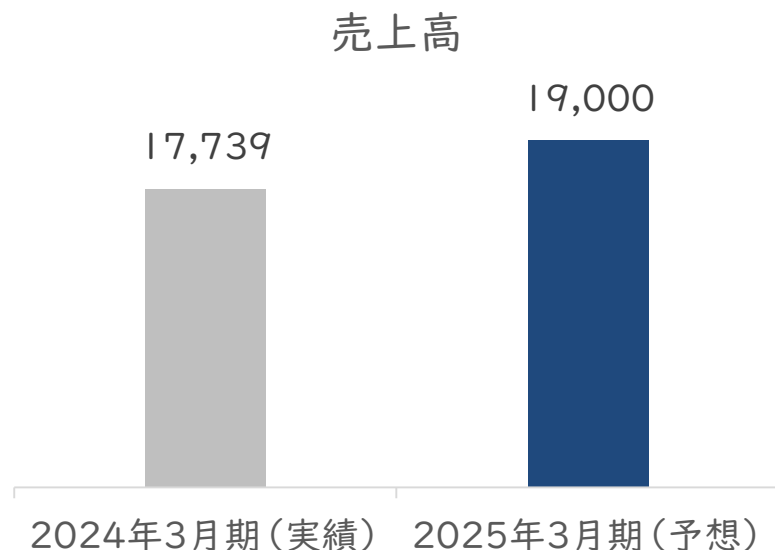
- 売上高・営業利益ともに前年比増加を見込み、中期計画3年目の目標に向け足元を固める
- 成長分野である自動車向け販売は回復
- 原材料価格の上昇、賃上げに伴う人件費増加に加え、拡販にむけた戦略的費用の増加によりマテリアルソリューション事業は減益
- アドバンストテクノロジー事業は収益力回復により増益
- RP東プラの持分法利益を見込むも、2024年3月期は為替差益の計上があったため当期純利益は減少

業績予想の前提

- ・ ナフサ価格72,000円/kl (2024年3月期実績:67,600円/kl)
- ・ 為替:150円/USD (2024年3月期実績:144円/USD)



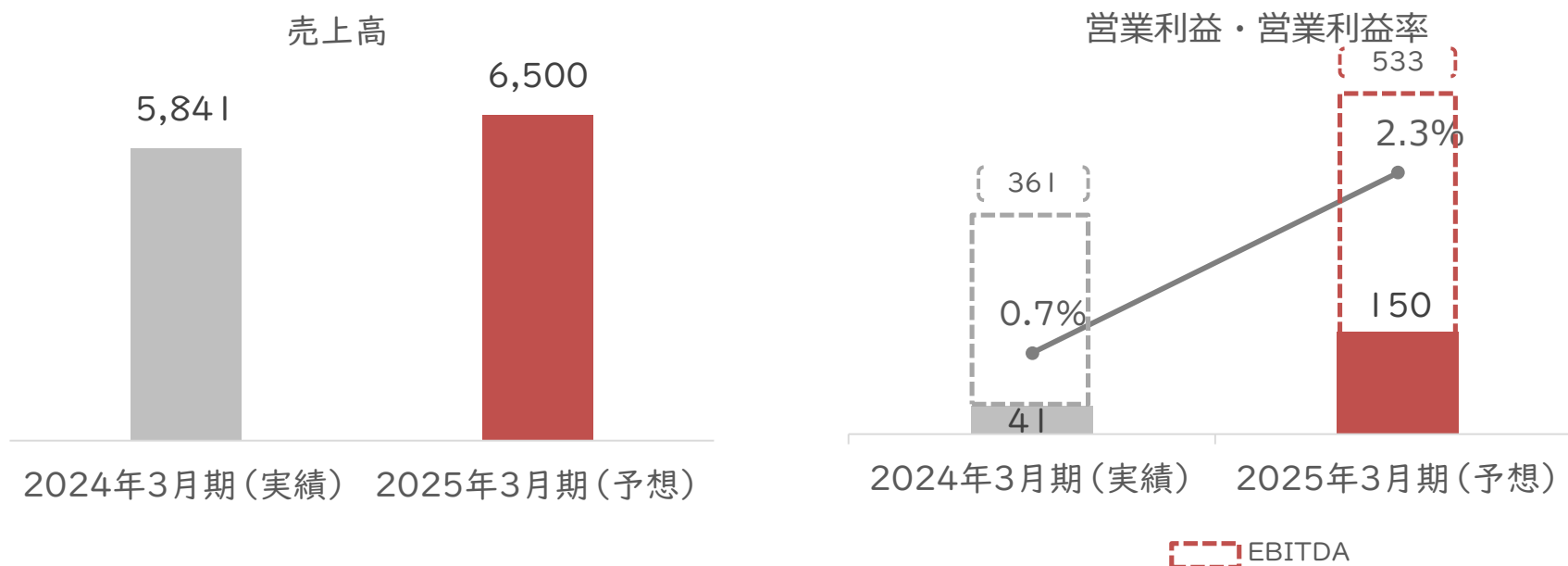
単位:百万円



売上高 19,000百万円 (前年同期比+7.1%)  
営業利益 950百万円 (前年同期比△6.7%)

- 人件費や製造コスト上昇分を売価転嫁やさらなる生産性向上でカバーするものの、売上高増加に伴う販売管理費の増加や、広告宣伝費など戦略的コストの増加により減益
- 地中熱ビジネスは体制強化により売上高330百万円を計画

単位:百万円



売上高 6,500百万円 (前年同期比+11.3%)  
 営業利益 150百万円 (前年同期比+258.9%)

- 注力分野である自動車向け販売は前期不調の中国および北米向けフィルム販売の回復やパーツ成形販売の拡大により、下期を中心に利益獲得の見込み
- 拡販体制強化に向けた設備投資による減価償却費や経費の増加をカバーし増収増益

# 決議事項

# 第1号議案

## 定款一部変更の件

# 第2号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）1名選任の件

# 第3号議案

監査等委員である取締役4名  
選任の件

# 第4号議案

取締役（監査等委員である取締役を除く。）の報酬等の額決定の件

# 第5号議案

監査等委員である取締役の  
報酬等の額決定の件



# 第6号議案

取締役等（社外取締役および監査等委員である取締役を除く。）に対する株式報酬制度に係る報酬枠設定の件

# 議案の審議

# 議案の採決

# 閉会宣言

ありがとうございました

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は様々なリスクや不確定要素に左右され、将来に関する記述に明示又は黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。